

元旦の夜にゆったりとしてTVを見ることができた。日本人は巨樹と共に生きているし、巨樹の国日本は誇らしい。その巨樹は見事に四季を映し出す。巨樹と共に生きる日本人の生活や、文化、歴史が織りなす物語として、NHKが取り上げてくれた。時間の割き方はばらばらであったが、日本に現存する15の巨樹が取り上げられた。そのうち私個人としては、出向いて実際に巨樹を観察したことがあるのは「縄文杉」ただ一つであった。

ネット検索すれば、巨樹にかかわる情報の数は多い。今回の15をネットサーフィンしてみると、すべて検索することはできたが、もちろん情報は静態的で、TVのように立体的に、縦横に映像化できる魅力には勝ることができない。巨樹の姿を映した写真は見ることができるが、それを上空からの絵として眺めるなどはTVならではのことである。また人の生活や生き様とのかかわりから、物語風に解説を加えてくれるのもTVならではのことだろう。ネット情報ではそこまでの記述は求めることができない。

15の選定基準がどこにあったかは知りえなかったが、日本全国に存在する何百もの巨樹巨木の中から選ばれた樹木にはそれなりの物語がそれぞれに内在していたということだろう。

せっきくの情報であったので、一過性のものにしてはもったいないと思ったので、TV情報に加えて、ネットからのデータをつけたし、添付のようなリストを作成してみた。樹木の姿(画像)は紙面の都合から掲載はできないのでネットから照合していただきたい。

いつの機会になるかはわからないが、一つでも二つでも観察に出かけて、樹木と語り合ってみたいものである。

(参考)奈良県の巨樹に関連した情報アラカルト

1. 奈良公園内の巨樹15本を選んで、研究部そら組の活動報告として発表したことがある。(2009年1月9日)
2. 奈良県の巨樹・巨木の保全活動などに取り組む「グリーンあすなら なら巨樹・巨木の会」が「巨樹をたのしみませんか」という冊子を2019年5月に発行している。なじみのある樹木も含んで、31種が紹介されている。
3. 桜井市の小夫(おうぶ)の天神社に桜井市指定天然記念物の大ケヤキがある。2019年7月9日にユウスゲ観察会の後にサークル全体会メンバーで訪問した。幹周11m、樹高30m、推定樹齢1500年の古木は一見する価値がある。

サークル活動を発足した頃の頃には樹勢が弱っており、樹木医さんが手当てをされている状況に出くわしたことがあったが、今は枝も葉の豊かで生き生きしている。



(添付)日本人は巨樹と生きている(NHK BS3で取り上げられた15の巨樹)

